

桜美林短大 ○広橋比刀美

上野学園大短大 遠山千代子

【目的】第1報では、女子短大生の親子関係、特に父子関係を発達段階での父親の育児・教育への参加・協力度との関係から探ったが、本報では、同時に行った両親への調査、特に母親票の分析を中心にを行い、母からみた父の参加・協力度、また父への評価と、女子短大生の父子関係との関連を探ることを主な目的とする。また、それにより良好な父子関係と夫婦関係についても考察する。

【方法】1991年6月中旬～下旬に、東京都内短大2年生193名、埼玉県内短大1年生100名、計293名とその両親を対象に行い、短大生については自記式質問紙法で、両親については、学生に質問紙を配布、後日回収し調査。

【結果】

- ①父・夫・社会人としての評価について、父自身・母・子の三者の関係をみると、母・子とも父よりすべてにつき評価が高く、特に社会人としての父の評価が高くなっている。また夫としての評価は母が、社会人としての評価は子が高くなる傾向がみられた。
- ②母からみた父・夫・社会人としての評価が「よい」とする中の70%は父のことを好きとし、「悪い」とする中の50～70%は父とはあまり話さないという結果を得た。また、参加・協力度の実態・評価についても、「よい」とする者は、父子の話し合いが多く、好きの割合も高くなっている。

これらより、良好な父子関係は、母親の父親への良好な認識、また、良好な夫婦関係の上に成立することが確認されたといえる。